



インみたか通信

55号

発行：NPO法人障害者生活支援センター インみたか

2024年9月発行



今回は、古谷 聡さんに素敵なイラストを描いていただきました。

インみたか通信では、今後もこのような形で皆様の作品を掲載できればと
考えております。

是非、あなたの描いたイラストや似顔絵をお送りください！

掲載につきましては、「インみたかヘルパー派遣部」まで、ご連絡ください。

連絡先は4 P 目に記載しています。メール・電話お待ちしております。

障害者の豊かな暮らしと、

すべての人が幸せになれる社会を目指して



特定非営利活動法人 障害者生活支援センターインみたか 理事長 宮城 永久子

当法人は、2001年8月3日に設立して以来、今年で24年目を迎えております。

当法人では、障害のある方のありのままを受け止め、その人が生活の主体になれる支援をしてまいりました。人の生活は、日々変化します。障害者の生活もまた、昨日と同じ今日はないのです。その日その日の利用者の方々の希望に寄り添い、言葉だけでなく、しぐさや表情にも丁寧に対応し、介助して下さっているヘルパーの皆さんには、感謝の言葉が尽きません。

最近では地域の大学からの実習生を積極的に受け入れています。これからの社会を担う若い世代が障害者と接することにより、一人ひとりがそれぞれの思いを持って生きていくことを知り、支援の必要性の理解につながればと考えています。

これからも障害者の生活が型にはめられることなく、制度や社会資源を活用しながら、のびのびと豊かに暮らしていただけるよう、支援してまいります。それと並行して、障害者の支援に携わる福祉従事者の社会的地位を向上させていくことにも取り組んでいきます。

まだまだ力不足のところが多い法人ではありますが、地域の方々と手を取り合いながら、すべての人が幸福になれる社会を目指し、職員一同、力を尽くしてまいります。

宮城よりひとこと

利用者の皆さまから、お話を聞かせていただくことを何よりも楽しみに生きています。困りごとや心配事はもちろんのこと、日々の嬉しかったこと、楽しかったことなども、ぜひお聞かせください。プライベートでは、拙著「ピンクの車いすを街の風景に」「ピンクの車いす お湯割り、濃いめでお願いします(エッセイ集)」に続く、第三作目の執筆に取り組んでいます。短編小説のアンソロジー(作品集)に挑戦しています。かなりのロングランになりそうですが、終活の一環として、のんびり楽しみつつ書き進めていきます。

相談支援センターぽっ



皆様、お久しぶりになります。

しばらくの間 インみたか通信を休載(54号まで)させていただきまして、大変申し訳ございませんでした。

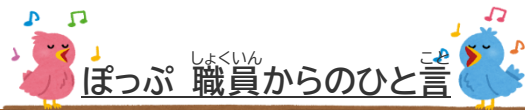
55号から再開させていただきますので、近況の報告をさせていただきます。

コロナ禍でいろいろと大変な時期もありましたが、何とか乗り越えることができ、ぽっが職員一同げんきに仕事をしています。2023年から新しく非常勤職員の太田美幸(女性)さんが勤務することになりました。笑顔が素敵で、すでに利用者さんからも大人気です。ぽっに来た際は気軽に声をかけてください(♡)



ぽっぷの業務は、障がい者職員を中心に行政や関係機関、医療機関、ヘルパーが協力しながら、利用者の生活全般の支援を行い”自分らしい人生”を送っていただくためにサポートさせてもらっています。今後も地域のニーズに出来る限り応えていきたいと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。

しせつちよう かねこ
ぽっぷ 施設長 金子



ぽっぷ 職員からの一言

- かねこ さいぎん ねっちゅうしよう じぶん おも
金子.. 最近、熱中症になりました。まさか自分になるとは思っていませんでした。
ねっちゅうしようたいさく たいせつ み し きよう ごろ
熱中症対策の大切さが身に沁みだした今日この頃です。
- なぐも しごと お あと まいにち ごうらう ふ
南雲.. 仕事が終わった後、毎日のように豪雨に降られていますが、
よほう サイトに たす けられて います。さいぎん てんきよほう あ
予報サイトに助けられています。最近の天気予報は当たりますね。
- おおた にっちゅう あつ そうちよう やわ さんぽ なつ たの
太田.. 日中はとても暑いですが、早朝だと和らいでいるので散歩して夏を楽しんでいます♪



みたかししやう しゃそうだんしえん
三鷹市障がい者相談支援センター ぽっぷ

〒181-0013 三鷹市下連雀4-15-18-2階 電話 0422-71-0901 ファックス 0422-26-5141
メール poppu@dream.ocn.ne.jp ホームページ <http://www6.ocn.ne.jp/~poppu/>

けいかくそうだん なぐも
計画相談センターくもの南雲です。



「通信をお休みして申し訳ありません」みたいな書き出しは、他の部門と重なると思うので割愛させていただきます。

「くも」は毎週火曜日のみ開所しています。利用者の希望や困っていること等を聞き取り、聞き取った内容を元に「計画」を作成し、ヘルパーやグループホーム等の利用に必要な「受給者証」を、行政に発行してもらう事が仕事です。計画相談と呼ばれています。

計画は、相談員を頼らずに自分自身で計画を立てることも出来ます。これをセルフプランと言います。大袈裟に言えば、セルフプランで自分の人生を自分で決める事が出来るのです。

私は子供の頃から、親や支援者に物事を決めてもらう事(決められてしまう事)が多くありました。そんな生活ばかり送ってきたので、大人になっても「自己決定」をする事がとても苦手でした。過去形で書いてしまいましたが今でも苦手かもしれません。とは言え相談者には、自分の生活なので相談員任せにすることなく、しっかり向き合っ自分決めて欲しいと思っています。

※福祉サービスを利用している人が皆、セルフプランになれば良いという意味ではありません。

自分自身にも障がいがあり、車椅子を使用しています。健常者の相談員であれば、他人の計画を立てるだけで、自分の計画を立てたり、人に立てられたりする事はないはずですが、私は計画を立てる人の気持ちも立てられる人の気持ちも両方分かります。ですので、できる限り、相談者の意思を尊重した計画を作っていきたいと思っています。

しょう しゃけいかくそうだん
障がい者計画相談センター くも

〒181-0013 三鷹市下連雀3-10-6 コーポみやび 101
電話 0422-26-7229 ファックス 0422-26-7229





お久しぶりです！ヘルパー派遣部の小林です。皆様、変わりなくお過ごしでしょうか？
ご無沙汰している間に変わった、ヘルパー派遣部の3大変化、職員の近況をお知らせします。

1 事務所が移転しました。

ご存知の方もいるかもしれませんが、昨年ヘルパー派遣部の入っていた建物が、オーナーの売却に伴い取り壊しとなる大事件が…。

右往左往しましたが、ヘルパーさんに不動産屋を紹介してもらい、縁に恵まれ、新事務所で営業しています。

三鷹駅からも徒歩8分と近くなりましたので、ぜひ気軽にお立ち寄りください。

3 ホームページのスタッフ紹介を リニューアルしました。

インみたかのメンバーでもある小山つかささんに、職員の似顔絵を描いていただき、ホームページに載せました。小山さんのセンスあふれる似顔絵、ぜひご覧ください！

ヘルパー派遣部一同、今後ともよろしく願いいたします！

★ 職員から近況

小林…最近漫画を読むことにハマっています。『九条の大罪』おすすめです。

滝…毎晩の晩酌が日々の楽しみです。時短調理で済むお勧めなおつまみありませんか？

中野…1年中食欲旺盛&体重増加中。レッツ・ダイエット(笑)

細田…細田くんは最近、VRの世界を旅しています。みなさんも読書や映画で心の旅を楽しみましょう！

新阜…シュークリームが美味しくてよく食べています。セブンイレブンが好きです。



イラスト・似顔絵についての連絡は、こちら↓にお願いします。

障害者生活支援センター インみたか ヘルパー派遣部

〒181-0013 三鷹市下連雀3-10-6 コーポみやび 101 電話 0422-71-0902 ファックス 0422-24-6266

メール in-mitaka@iaa.itkeeper.ne.jp ホームページ <http://www6.ocn.ne.jp/~poppu/inmitaka/index.html>

禅林寺 龍華会基金様からご寄贈頂きました。

禅林寺 龍華会基金様から、電動自転車2台と、ヘルメット2つを、インみたかヘルパー派遣部にご寄贈頂きました。

主に、三鷹市内で暮らす障害のある利用者宅へ、職員やヘルパーが訪問する際の足として大いに活用させていただいております。この夏は特に、移動負担の軽減になっています。

ここに改めて、感謝申し上げます。



※相談支援センターぱぷは、三鷹市の委託事業のため、三鷹市にならって「障がい」と表記しています。

法人及びヘルパー派遣部は「障害は、障害者存在するもの」と考え障害という表記を使います。

本人の中にあるものではなく、社会や環境側

